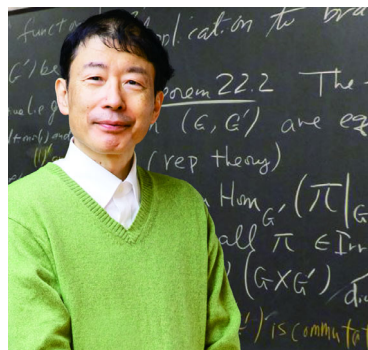




東京大学理学部 数学科



数学科 学科長

KOBAYASHI Toshiyuki

小林 俊行 教授

MESSAGE

永久不滅の数学的真理を学
び、
そしてあなた自身が新発見す
る

数学科は整数論・代数幾何学・リー理論・群論・環論・トポロジー・微分幾何学・表現論・関数解析・作用素環・微分方程式・確率論・統計・数理物理・数値解析・基礎論など、広い分野をカバーする世界有数の数学・数理科学の研究拠点です。普遍的な数学的真理の学習を通じて、自らの数学的思考力を磨くことを重視しています。

【学科の特徴】

数学科の教育・研究拠点は、「駒場キャンパス」です。

数学科は、学部教育組織として理学部に属しています。一方、大学院の組織としては理学系研究科と独立した「数理科学研究科」となります。伝統的な純粋数学である代数、幾何、解析に加え、応用数理の分野も含めた層の厚い研究者を擁し、数理科学全般にわたる日本最

大の研究拠点として世界の数学研究発展の一翼を担っています。皆さんは数学科に進学すると、駒場キャンパスの「数理棟」で、数学者や大学院生たちとともに数学に集中する優れた環境に身を置くことになります。

数学的思考の幅広い応用と職業選択

数学科には卒業論文の制度はありません。4年生になると各自の希望に応じた研究室に配属され、セミナーを通して個別指導を受けることが卒業の大切な要件です。数学は、厳密科学の典型として、また、科学の言語として唯一無二の役割を果たしてきました。自律的な学問として知的な刺激に満ちた独自の発展を遂げながら、同時に多くの応用分野や理学・工学・定量的社会科学において、本質的な役割を演じてきました。さらに近年では、計算能力の飛躍的拡大とデジタルデータの膨大な蓄積を背景に、従来無縁と思われていたビジネスや生活の隅々にいたるまで、数学的思考の有効性が認識されつつあります。このため、諸分野や社会からの数学科卒業生に対する期待もかつてないほど大きく、数学科に進学して研究者や教員という伝統的な職業を目指すばかりではなく、幅広い進路の可能性が開けています。数学科は皆さんの参加を待っています。